

開講日	2022年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所 受講資格	研究棟11階 講義室A 尚、本科目は名古屋市立大学進化型実務家教員養成プログラムとの連携科目です。
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学 教授 笹野寛		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 災害への対応・急性期医療の実際など、緊急事態に対応するための知識や様々なスキルを学びます。 【期待される成果】 災害及び急性期医療に関する緊急事態に対応するための知識やスキルを得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮でき、円滑なチーム運営に貢献する人材となることを目指します。新型コロナウイルスの流行により新たに考慮すべき内容に関して学びます。
目標とする 資格	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、行政職、教員、医療関係職など

L-1	1	気道管理法	気道確保・管理法や、窒息傷病者に対する緊急処置、新型コロナ肺炎対策に関して学びます。	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	9月6日
L-2	2	精神疾患の対応	急性期医療などにおける精神疾患および精神的な対応に関して講義形式で学びます。	宮崎 ゆか(実務家医師) 名古屋市立大学病院救急科	9月13日
L-3	3	災害時の薬事支援	実際の災害現場(東日本大震災、熊本地震、クルーズ船ダイヤモンドプリンセスでの感染症など)における多職種連携や事業継続計画(BCP)について学びます。	教授 林秀樹(実務家教員) 岐阜薬科大学地域医療実践薬学	9月20日
L-4	4	心肺蘇生法と除細動器1	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際を、マネキンを使って体験学習します。	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	9月27日
L-5	5	心肺蘇生法と除細動器2	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際を学びます。	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	10月4日
L-6	6	災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の役割	被災自治体の「保健医療調整本部および保健所」機能の支援を行う災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の活動などについて学びます。	小嶋雅代 名古屋市健康福祉局 医療企画調整官	10月11日
L-7	7	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて学びます。	清水 真名美・寺西幸子 名古屋市立大学病院 救命救急センター看護師	10月18日
L-8	8	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について講義形式で学びます。	准教授 三浦 敏晴(実務家教員) 名古屋市立大学医学部 附属東部医療センター	10月25日
L-9	9	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について講義形式で学びます。	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	11月1日
L-10	10	災害と感染症	災害時における問題となる感染症に関して学びます。	救命救急センター長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学医学部 附属東部医療センター	11月8日
L-11	11	アナフィラキシーショックへの対応	アナフィラキシーショックに対する初期診療について講義形式で学びます。	助教 松居亮平(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	11月15日
L-12	12	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリーケアについて講義形式で学びます。	助教 今井 一徳(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	11月22日
L-13	13	外傷の初期対応(胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について講義形式で学びます。	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	11月29日
L-14	14	化学災害・化学物質テロなどの現状と対応	化学物質の特性・管理・災害時等での対応について学びます。	教授 酒々井 眞澄(実務家教員) 名古屋市立大学脳神経科学研究所 神経毒性学分野	12月6日
L-15	15	骨折などの管理	災害時における骨折などの管理を講義形式で学びます。	助教 坪内希親(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科	12月13日